

## JF-IETF-RFC4585

# RTCP をベースとしたフィードバックの ための拡張 RTP プロファイル (RTP/AVPF)

Extended RTP Profile for  
Real-time Transport Control  
Protocol (RTCP)-Based Feedback  
(RTP/AVPF)

第 1.0 版

2008 年 3 月 13 日制定

社団法人

**情報通信技術委員会**

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。  
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

## 目次

<参考> .....	4
1. 標準の概要 .....	5
2. 本標準で規定する内容 .....	5

## <参考>

### 1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC4585に準拠している。

### 2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

#### 2.1. オプション選択項目

特になし

#### 2.2. ナショナルマター項目

特になし

#### 2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

### 3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第 1.0 版	2008 年 3 月 13 日	制定

### 4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

### 5. その他

#### (1) 参照する主な勧告、標準

特になし

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。

具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

### 6. 標準作成部門

メディア符号化専門委員会

## 1. 標準の概要

RTPを使用したリアルタイムメディアストリームは、ある程度パケットロスに対する回復能力があります。受信側は RTCP をベースとしたメカニズムを用いてパケット受信の統計情報の報告を行い、これにより、送信側はその伝送の振る舞いを中期的(mid-term)に適応する事が可能です。これは、(いくつかのコーデック特有のメカニズムを除くと)フィードバックおよびフィードバックをベースとしたエラー回復のための唯一の方法です。本文書は、オーディオビジュアルプロファイル(AVP)に対する拡張 (AVPF) を定義し、これにより、受信側が送信側に対して、より迅速なフィードバックを行い、短期的(short-term)適応とフィードバックをベースとした効率的な回復メカニズムが実行されることを可能とします。この AVPF は、AVP において定義された RTCP 帯域幅制約を保ち、大規模な参加者グループに対するスケーラビリティを失いません。

本文書では、フィードバックメッセージ・フォーマットと対応する SDP 記述を定義しています。具体的には、トランスポート層で利用する Generic NACK, ペイロード固有の Picture Loss Indication (PLI), Slice Loss Indication (SLI) , Reference Picture Selection Indication (RPSI)ほかのメッセージについて記述されています。

## 2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC4585 : 「Extended RTP Profile for Real-time Transport Control Protocol (RTCP)-Based Feedback (RTP/AVPF)」